日刊
いわき民報
発行所
平市田町 電381 1222
いわき民報社
編集兼印刷人 田原 登
副発行人

11月の…
宝くじ
〜賣切れ迫る
2本半に1本の当選率
抽せん 11月30日
於 京都市
一枚 30円
日本勧業銀行平支店

六萬五千九百石
供米 市町村割當決る

石城地方事務所では二十六日午前十時から同会議室で石城郡農業委員会を開き二十六年度産米割当数量六万五千九百石の各市町村別供出割当を決定した、昨年供出量より一万三千三百石減である、各市町村別割当量は次の通り、単位石

泉三、四五二 渡辺二、六九二 植田三、一二五 山田二、一六五 錦二、七〇二 勿来三、九一〇 上遠野一、七一七 入遠野三、二〇 川部四一五 田人九五 夏井二、六六五 高久一、九八三 豊間一五八 江名八一 三 鹿島三、一四九 小名浜四二五五 磐崎三、五三五 湯本四一六 内郷一、〇一六 好間一、四三八 赤井一、六八〇 永戸一、二二 笠間二二一 沢渡八三 三阪七九五 草野五、一五五 大浦四、〇六六 四倉二〇〇 大野四、〇二七 上小川三七六 下小川九〇四 川前一四三 平市二、四八三 同飯野地区三、三八五 同神谷地区二、二四〇

片割れも擧る

去る二十一日植田地区署に検挙された五人組少年窃盗団の片割れ遠藤実は逃走中であったが東京都荏原に潜伏中同地警察署に捕まり二十五日植田地区署へ

賃上げ申入れ
日鑛常連、東部鑛連へ

日鉱常連では二十六日午後二時、東部鉱連に対し二月以降新賃金の統一集団交渉を申入れた、交渉開始は大体十二月十日ごろから始めたいと組合側では語っている

越年手當を
三千圓要求
内郷勞務者

内郷町自由労組代表渡辺幸一氏外一名は二十六日平土木監督所を訪ずれ正月四日間の有給休暇と越年手当一人三千円を要求、併せて賃金の値上げと完全就労につき交渉した、同所では平職安所と合議した上県へ提案しなければ決定出来ないので要求に副うよう努力すると解答した

二發電所スト
電産 無期限に突入

昨報＝電産労組平分会では中央からの指令で二十八日から無期限の電源職場の労務提供拒否を断行する、既に二十五日には足玉川、二十六日には木戸川第一、塩田、小川の三発電所が電源ストを行なっているが一般需要家には支障はない

あす休電
ストも影響

東北電力平営業所管内の電力事情は降雨が続かないのと電産ストに

片割れも擧る

去る二十一日植田地区署に検挙された五人組少年窃盗団の片割れ遠藤実は逃走中であったが東京都荏原に潜伏中同地警察署に捕まり二十五日植田地区署へ

公判停止問題で激論
二日目 鬪爭派乙組公判

内郷両町署の襲行の脅迫行為を具体的に審いたいだけで事実の同一性を害しないと思う、また公判停止申請については次回公判日までに二十日間あるのだからそれまでに打合せは出来るはずだ」と反対意見を述べれば鈴木（磐）被告が『訴因変更の許可は前回公判で閉廷間ぎわに行なったのだ、被告はヘテンにかけられたようだ』とまくしたてれば裁判長は『そのために弁護人がついているのだから』と詳細は弁明を聞いたらよいだろう』と突っ返せば被告らは交々立って『とんでもない、こんなものが許可されれば吾々の罪が重くなるばかりだ、はやく許可を取り消せ』と激論を展開、大塚弁護人からも公判手続の停止意見を述べて午休廷、午後は二時半再開された

節電協力會を結成
小名濱、會長に小野氏

小名浜町では十一月定例区長会を二十六日午前九時より小名浜郵便局新庁舎内で開き、昨今の電力危機に対処し消費節約を強力に推進する目的から町、町議会、商工会

東北電力、関係官公署並に各区長が中心となって構成する節電協力会を組成、会長に小野作太郎（区長会長）副会長に野庄平（商工会長）松原文吾（町議）の諸氏及び評議員として全区長三十名ほか五十キロワット以上の大口電力消費者から十一名選出、明年三月三十一日まで継続することに決めた、

赤字続きの平磐輪も、郡山場外売場の設置などから漸く黒字の燭光が見え、会津磐梯休場の期間中（『郡山場外売場中止』の命令を受け、市当局を初メ十二月から三月まで）に大きい期待をかけられていた矢先、平一郡間、平磐輪の実情を具申して『専用線再開』の陳情を行った結果、新井局長も同情を寄せ、平一郡山—福島間の配線関係を検討し、同回線の増強を完成するまで局用線を利用させることになり、十二月十五日から行う第十一回磐輪から平—郡山間の専用線を再開させる

このほかお年玉つきハガキの売捌き協力、所得税二期分の納付などについて協議した

郡山の賣場再開
電話專用線問題解決

轉落負傷

二十五日午後六時半ごろ常磐炭鉱緩坑トヨベツト運転手為カ井光三さん（四）は内郷町綴字掘坂地内で運転をあやまり田圃に転落、乗車していた同町綴字一の坪無職小林昭子さん（三）が頭部に全治一週間の傷を負ったがけで他は無事

運搬夫即死
炭車から轉落

内郷町宮字平太郎二坑内運搬補手松山喜久治さん（三）は二十六日午前十時半ごろ常磐炭鉱緩坑々外逆下搾炭車線路で作業中炭車から足をすべらし転落、炭車と路盤にはさまれ前額部を骨折し即死した

雇人を使い
疊屋が盜む

植田地区署では二十七日植田町本町畳製造業下山田少平（三）を窃盗教唆の疑いで身柄送検した、下山田は雇人某（二）等三名の少年を使つて去る二十三年十一月から植田駅前の貯炭場から石炭三百貫を、更に二十四年十一月ごろから同町魚商赤津馬次郎さん（三）方から魚箱数個をまた去る二十日ごろ同町本町金物商大野勝郎さん（四）方からムシロ三十六枚などを盗ませていたもの

レコードコンサート

湯本町公民館和楽部が主催になり二十九日午後六時からホールでレコードコンサートを開催する

ウイスキー盜難

平市田町五八飲食店『おくら』こと小倉加代さん（三）方では二十六日午後三時半ごろ店内陳列棚からサントリーウイスキー一本（千三百五十円相当）を盗まれた

天気予報

二十七日【今晩】北西の風よい天気で山地ではおしめじグれる事もある筒明朝は冷え込み暁く霜がおりる【明日】北西の風一時やゝ強くよい天気山そいでは時々雲が拡がる、海上は引続き北西の風カナリ強く風波高いから漁船は注意昨日発令の強風特報は発令中

開拓者に暖かい贈物
ラ、物資山と積む

十二世帯三千二百九十四名もいる開拓者には平均一点づゝしか割当てにならないが、はるばる海を越えて贈られて来たもので関係者一同この暖かい人類愛に感激し、それぐ警察官立会のもとに支給した（写真は贈られて来たラク物資

背広、ジヤケツ、下着など冬もの十二から夏ものラク物資が山の様に開拓者用として石城福祉事務所が県から割当てを受け無償給与するものだが今度始めて贈られたこの衣類は冬を間近に控えて開拓者にとつては有難いプレゼント、六百六

郷土人を誇る
關内代議士NHKより放送

関内代議士はアメリカ視察から帰朝して以来二十六日始めて仙台市を訪問、所管関係の別項の如く東北電気通信局長と仙台放送局等に挨拶廻りをしたが、NHKでは『初の訪問を待っていました』と直ちに録音室に案内し、局員と対談してアメリカを語り、同夜九時四十五分からのローカルニュース時間に放送した

このニュース放送では時間の関係から民営電話とテレビジョンなど視察の目的と郷土の代表的人物としてクローズアツプされている赤井関府田敬三郎氏の三千町歩に余る大農業経営ぶりと、最近に於ける同氏の政治的活動状況を伝えた

ことになつたこの吉報を携えて一行は直ちに東北通産局を訪ね、間瀬局長須賀井通産部長、小幡課長等と懇談し『専用線を再開することに決つたから今後絶対に手違いを起さない』ことを確約して郡山場外車券売場の再許可を懇請、通産局側も『専用線確保』の実体を確めた上善処することに決つた

此処暫く再開の見通しを失つていた郡山場外売場も関内代議士の尽力に依つて十一月の後節を休場したので復活する見通しがつき、市当局もヤツトのことで愁眉を開いた

祝 小名濱郵便局廳舍新築落成 11月28日

小名濱郵便局
局長 三浦宗長
庶務会計課長 遠藤武三
郵便課長 猪股静二
貯金保険課長 金成貞一

小名濱町役場
町助長 水野政次郎

小名濱町議會
議長 長瀬彰義

小名濱郵便局廳舍
建設施工者
野口工務店
野口繁
小名浜町花畑三五
電話五一七

小名濱西町郵便局
局長 江尻翠

住吉郵便局
局長 鈴木一平

走熊郵便局
局長 鈴木孝親

御挨拶
小名浜郵便局長 三浦宗長

このたび町当局並に町議会の年余に亘る御尽力を始め町を挙げての御援助に依りまして茲に当小名浜郵便局の新庁舎の竣工を見ましたことは御同慶に堪えません。厚く御礼申上げます。又諸貴衆者野口工務店を初め三建設備工業、沖電気工業両会社が朝鮮動乱等にからむ経済的変動のさなかにいろくな悪条件と闘いつゝ献身的な努力をつくして責任を全うされたことに対し深く感銘厚く御礼申上げます

当小名浜郵便局の誕生は遠く七十七年の昔にさかのぼつて明治八年十一月一日本町二十四番地に郵便受取所として発足しております。

爾来一世紀に近い星霜を世情と共に幾変遷し、春風秋雨一日として休むことなくたゞひたすらに業務を続け御当地と消長を共に今日まで歩みつゞけて参りました。いつの時代に移つても凡ゆる家庭と直結しすべての生産面や文化面と深く関連を持ち続けて来たのでありますがもはや当郵便局は躍進小名浜にとつて不可欠なえして至極重要な役割を担当しつゝあることは今更申上げるまでもございません。私共局員五十名は任務のあるところ完全協力し将進を重ねてみなさまの御芳情に充分御応えする所存でございます甚だ簡単ではございますが紙上をもちまして御挨拶に代える次第でございます。

小名濱土木 株式会社
社長 坂本二郎
一級建築士
常務取締役 佐藤萬壽
小名浜町上町五六
電話一七〇番

小名濱金融團
七十七銀行小名濱支店
常陽銀行小名濱支店
東邦銀行小名濱支店
福島相互銀行小名濱支店
大東相互銀行小名濱支店
小名濱町信用組合

小名濱電報電話局
施設長 高木勝男

小名濱電報電話局
営業運用長 新妻昌司

内科 小児科 放射線科
高木醫院
高木一郎
小名浜町定西五
電話四九九番

小名浜郵便局新庁舎
基礎施工者
小名濱土木 株式会社
社長 坂本二郎
一級建築士
常務取締役 佐藤萬壽
小名浜町上町五六
電話一七〇番

（日刊）1カ月金80円（週1回四頁建）
除月曜 定価一部（二頁）3円（四頁）4円
いわき民報
（第三種郵便物認可）
昭和26年11月28日 水曜日 第1693号 （2）

榮ある受賞者（終）

第三回磐城産業文化祭

◇農産物 玄米 三等 平市大和 好間鈴木一之 志賀久可 琵琶阿 田多門 四等 下小川斎藤正一 都正美 小川市川嘉嶺 沢渡水野 粒三等 好間星新作 四等 江名 清人 大野小泉進 永戸松崎トキ 作山長治 菜種 三等 川前矢内久巳 平市吉田 植田鈴木英之 大麦 三等 平市 須土 小豆 三等 川前矢内久巳 植田鈴木英之 大麦 三等 平市 沢渡大竹功 入遠野小川モト 四等 松崎之雄 水稲 四等 夏井大友 等 平市草野重雄 大野根本一寿 幸吉 大野根本勝広 波汐英勝 入遠野折笠利治 永戸松崎守 磐 三等 平市遠藤安子 小川稲崎重 嶋鈴木重雄 大豆 三等 鹿島荒 弥四等 平林ハル 平水野トメ 川忠純 田人綠川博 赤井木田幹 山田小林トリ 草腹 永戸倉戸青 二 好間屋刃 磐間矢野茂太郎 生会 三等 むしろ 山田小沢貞 草野渡辺徳行 大野商木藤 佐藤子 玉繩 内郷久野晶良 馬鈴薯 芳雄 田人崖田光一 小川草野孝 三等 小野長治 沢渡鈴木公位 雄 四等 大野白井誠 入遠野折 好間吉田富 四等 平市鈴木貞夫 笠利雄 川前松本ユキ子 草野武 小野ワク 木村資吉 新妻正文 夫 入遠野上遠野忠夫 沢渡草野 錦町志賀善一 田人滝政一 平市 正人 平市原種農場 四倉吉田稔 鈴木睦子 馬鈴薯 平市林太一郎 志賀正一 人参 平市塩長兵衛 梨 赤井はる沢辰夫 大野大和田 活改善 小名浜4Hクラブ 葉煙 位 大根 泉川澄清太郎 午勞 平市矢吹隆平 猪狩宗一 鈴木敏夫 大谷利貞 錦小宅一弥 四等 平市矢吹隆平 猪狩与 平市加藤郁広 塩保之 下小川根本兼吉 平市松崎金一 好間園部昌男 園部定一 人参 四等 好間白土周平 高秋松男 田多門 四等 下小川斎藤正一 都正美 小川市川嘉嶺 沢渡水野 園部昌男 荒川政義 大谷吉和 柴野照 赤井鈴木正良 鈴木順 大谷正義 四等 好間猪狩孝春 ゴボウ 平市矢吹ツヤ子 人参 阿部正男 猪狩行雄 押野充 猪 遠山忠司 ゴボウ 遠山スエ 人参 狩喜惣平 猪狩栄一 平市伊藤止 参 四等 平市遠山清喜 大根 男 塩ぎみ子 塩修一 白菜 三 四等 泉江尻貞雄 里芋 錦下山 四等 夏井大友 等 新妻正文 林大八郎 四等 田定吉 小名浜海老根文弥 人参 関場淳一 体操 好間大谷喜平 平市鎌田吉平 鎌田サダ 大根 平 鎌田務平 泉鈴木芳長 ゴボウ 鎌 小川白石政保 柿 三等 平市山 嶋治平 木村ソルヨ 赤井鈴木一 崎 三等 平市山 松 梨 平市根本康由 根本武久 柿 植田大田昌夫 鶏卵 豊間大 友金勝 柿 田人滝政一 四等 林部 磐嶋鈴木源一 柿 四等 平市山野辺ヨシイ 大野根本一寿 活改善 小名浜4Hクラブ 葉煙 美代子 ザル 平市八幡定一 柿 大野商木トヨ 商木貞子 商木忠 草 三等 植田商木允 植田栃田 夫 卵 平市松崎幸三 柿 渡辺 邦夫 上遠野延々彦重 上遠野生 安藤力 小野文夫 マブシ 山田 田目喜惣治 永戸草野伝七 磐嶋 蜂出順一 マブシ 三等 平市遠 織内久紀 永戸須藤武彦 渡辺晃 藤安子 小川稲嶋東弥 四等 平 川滝太郎 上遠野蜂田虎之助 永 市平林ハル 水野トメ 山田小林 戸平山興一 田人蟻渡重雄 上遠 トリ 草履 永戸倉戸青年団 む 野坂本タケ 磐嶋鈴木勝美 三等 しろ 三等 山田小沢貞子 玉繩 草野渡辺広之助 草野新妻重多 内郷久野晶良 三等 ロードアイ 等 入遠野上遠野正巳 田人綠川 ランドレット 平市吉田豊総 シ 保雄 磐嶋鈴木茂平 高久馬昭 ヨウル 沢渡阿部まさゑ 天然記 只 草野鈴木信近 上遠野為永武 念鶏 賞磐良 平市渋沢祐二 五 四倉町荒川薬局 入遠野上遠野 色小国 内郷内島良明 シヤモ 忠夫 磐嶋鈴木虎雄 泉吉田敏一 植田町菊田屋薬局 内郷町綴青木薬店 豊間小松喜平 好間爺成藏雄 永 男 甘藷 泉江尻勇 大根 三等 戸関谷新作 商久鈴木正一 磐嶋 松